

# インプラントってどうなの?

みなさん「インプラント」と聞くと何を想像されますか?

私自身、日々の診療の中で患者さんから色々な思いを聞かせて頂いています。漠然と手術が恐かったり、費用がどのくらいか、痛いのではないかと、不安をお持ちの方がたくさんいらっしゃいます。

インターネット等で色々な情報もあり、とても詳しい患者さんもいらっしゃいます。

藤崎歯科医院では25年前から「インプラント」治療を取り入れてきました。私自身も学会や講習会などで知識を得て実習などをを行い、院長や先輩歯科医の指導の下で数々の経験を積み、「インプラント」を治療の一つとして患者さんに提供させて頂いております。

今回は「インプラント」をより身近に感じて頂くために、難しい技術の話ではなく患者さんの声を紹介したいと思います。

「生使えるの?」「骨を削つて大

丈夫?」「全身麻酔?」「どう

飯は?」「失敗したら?」「高いんでしょう?」「もう歳だ

し?」「MRIを受けられな

くなるの?」と言った話をよく耳にします。中には「興味はお持ちでも、ご自身で判断されて諦めていた患者さんもいらして、入れ歯の修理をきっかけにインプラントをする」となった方もいらっしゃいます。また、「インプラント」を入れると決められた方は

「悪くない歯を削りたくない」「入れ歯だけは嫌だ」「入れ歯は厚くて味がしない」「どんどん入れ歯が大きくなってくる」「ブリッジは違和感がある」「入れ歯は話しにくい」「入れ歯が動く」と言つた理由から「インプラント」を選択される方が多い様です。

実際「インプラント」を入れた方は「噛める!」「外食が楽しくなった」「思いつきり笑える」「歌が歌える♪」「みんなと旅行に行ける」

こういった患者さんの声をお読みになつて少しでも興味をお持ちいただけましたらお気軽にご相談下さい。「インプラント」は必要な検査を行つた上で、患者さん一人ひとりのお

口に合つたものを選択します。上に記載したご質問にもお答えいたしまし、それ以外でも気軽にお聞かせ下さい。

最後になりますが、私自身「インプラント」がこんなに患者さんに喜んでいます。

ばれ、今までの悩みを見事に解消するものである事を日々実感しています。患者さんが喜んで頂いている話を聞けるのはとても幸せです。

歯科医師 久世・鈴木

## インプラント治療と従来の治療方法の比較(歯を1本失った場合の例)

部分入れ歯	ブリッジ	インプラント(人工歯根)
		
バネを状態の良い歯にかけて人工歯を固定する方法	失った歯の周りの歯に冠などをかぶせ、それらを連結し、歯を作る方法	金属(チタン)を骨の中に埋入し、その上に人工歯を作る方法
<b>〈メリット〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>短い治療期間(簡単に作れる)</li> </ul> <b>〈デメリット〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バネをかける歯の負担が大きい</li> <li>違和感がある</li> <li>噛む力が弱い</li> </ul>	<b>〈メリット〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>短い治療期間</li> <li>違和感が少ない</li> </ul> <b>〈デメリット〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>土台(両側の歯)となる歯を削る必要がある</li> </ul>	<b>〈メリット〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>味覚に影響を与えてにくい</li> <li>噛む力が回復</li> <li>骨がやせ細るのを防ぐ</li> <li>他の歯の負担を軽減する</li> </ul> <b>〈デメリット〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>手術が必要</li> <li>時間がかかる(骨とインプラントが付くのを待つため)</li> <li>保険治療外</li> </ul>